

ジェネリックの時代

これから、ジェネリック医薬が強力に推進されます。諸外国では以前より、特許が切れた薬でも、有効性の高い薬は多くのメーカーで作り処方されています。当然有効成分の開発費が掛からない分安く共有されますので、安価に効果が得られることとなります。

健康保険財政も絡み推進されているのが現状です。だからと言って全ての薬をジェネリックに変えるわけにはいかない理由があります。主成分が同じだからと言っても製造法や設備によって微妙な違いが考えられます。それに医師の治療法の考え方に、患者さんの主薬は変えたくないというのも当然のこととしてあります。

薬剤師としても変えても良い薬だからと意っても、一気に変えるには疑問があります。薬には、製造法の個性がありますので、変えるべき数種類を一種類ずつ調剤期間をかけ、服用しても問題がなかったかを確認しながら薦めますので時間がかかります。

これからは、患者さんのため、医師診断治療と処方、それを調剤する薬剤師の力を合わせ良い治療で、しかも安価な方法を進めていく時代になったということです。